News Release

2026 年 11 月 17 日

紫外線防御性能と快適な使用感を両立する油系エアゾール処方技術を確立

油系日焼け止めの「べたつき・析出・粉体の分散」を解決

株式会社ナリス化粧品（代表取締役社長：村岡弘義　本社：大阪市福島区）は、油系の日焼け止めエアゾール化粧料において、紫外線吸収剤の析出を抑えながら、粉体の分散性と高い紫外線防御性能を確保し、さらにべたつきの少ない使用感を実現する処方技術を確立しました。

【研究の背景】

当社は 1993 年にエアゾールタイプの日焼け止め「パラソーラ　UV カット　スプレー」を発売するなど、より快適な紫外線カットを実現するための研究を続けてきました。近年、日焼け止めは剤型が多様化し、ジェルタイプ・ミルクタイプ・クリームタイプ・リキッドタイプ・パウダータイプ・シートタイプ・固形タイプ・エアゾールタイプと多くの選択肢があります。なかでもエアゾールタイプは広範囲に素早く塗布することができ、手の届きづらい部位や髪や頭皮などへの塗布に加えて、塗り直しや塗り重ねの簡便さからも支持されている剤型です。これまでのスプレータイプの日焼け止めは乳化系のスプレーが一般的でしたが、使用感と紫外線防御機能を両立させるため、近年は油系タイプが主流になりつつあります。今回の研究では、油系日焼け止めスプレーの中でもより高い使用性を実現するために、スプレーの特性を応用し、瞬時にパウダリーな感触を実感できる使用感を目指しました。一般的に油系タイプの日焼け止めは、紫外線吸収剤に加えて油が多くなるため、べたつきが生じやすい特徴があります。それを解決するためにはべたつきを抑える粉体を配合しますが、高配合するとスプレー缶の中で固まってしまいます。また、べたつきを抑制するために油分を少なく設計すると、紫外線吸収剤の析出が起こりやすく、それらの課題を同時に解決する必要がありました。

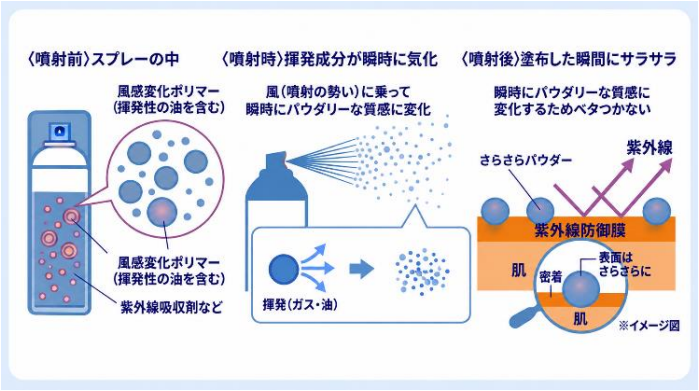


1993 年発売　初代パラソーラ

【研究の内容】

当社では油剤の配合量を必要最低限まで減らし、それに代えて揮発性の油剤やアルコールの配合量を検討することで、紫外線吸収剤の析出課題を解決しました。また、べたつき解消のために採用したシリコン化合物のポリマーは、エアゾール容器の中で揮発性の油分を吸い込んだ状態にすることで、粉体の再分散性を高めました。このポリマーを、スプレーで噴射すると瞬時にエアゾールのガスとともに多くの油分が揮発することでパウダリーな質感に変化します。揮発後に残った油分とポリマーは肌の塗布面にしっかり密着し、塗布後の肌表面はサラサラとした感触を保ち、快適な使用感を実現しています。





【今後の展望】

当社はこれまでもエアゾールタイプの日焼け止めについて早くから研究に取り組んできましたが、今回揮発性成分と不揮発性成分の配合役割を追求し、スプレーの特徴とパウダーの特徴を組み合わせることで、これまでとは異なる使用感の処方化に成功しました。日焼け止めは、近年夏場や日差しの強い場所だけで使用するものではなくなりつつあります。紫外線を防ぐ機能面だけでなく日々の快適性を生み出していくことで、多くの人の紫外線ケアに役立つ研究を続けていきたいと考えます。

【本件への問い合わせ先】 株式会社 ナリス化粧品　経営企画室　広報　横谷（よこたに）
〒553-0001 大阪市福島区海老江 1 丁目 11 番 17 号　TEL:06-6346-6672
mail:narispr@naris.co.jp　HP:https://www.naris.co.jp